

令和8年度 校内研修全体計画

平戸市立度島中学校

1 研究主題

「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成」
～読解力向上と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みを通して～

2 主題設定の理由

本校では、学校教育目標『郷土「度島」に誇りを持ち、たくましく未来を切り拓いていく、心豊かで活力のある子どもの育成』を掲げ、全教職員が共通理解のもと、「自分磨き」をテーマに、豊かな心を育てる（心づくり）・確かな学力をつける（学びづくり）・体力と耐力をつける（体づくり）を3つの柱として、調和のとれた人間性豊かで社会に貢献する生徒の育成に取り組んでいる。

本校では、令和4年度より継続して「読解力」に重点を置いて研究を進めている。全国・県学力調査でも、情報を活用する能力や記述式の問題など、「読解力」と関係する力については、各教科によって課題が見られることから、授業だけではなく、朝活動など学校生活全体を通して、読解力の視点を踏まえた授業づくりやリーディングスキルを重視した活動を行うことで、生徒の学習内容をより深め、学力向上へとつなげたい。

日々の授業でグループ活動や話し合いの場面を設定し、意見交換の機会を多く経験することで、発信する力を中心とした表現力の向上を目指す。さらに全教員で学ぶ姿勢をもち、研修テーマに沿って1人1回の研究授業実施と授業参観・授業研究を行うことで、お互いが高め合うことができる研修の機会としたい。「生徒ができた」「わかった」という授業を行うことで、主題である「確かな学力」と「主体的に学ぶ力」を身に付けることにつながると考える。

3 研究仮説

- 「長崎県授業改善メソッド」を踏まえた授業づくりやリーディングスキルを重視した朝活動を行うことで、生徒は読解力の視点を意識しながら活動に取り組み、読解力を向上させることができるであろう。
- 学習における基礎的・基本的な学習内容の定着を図る取組と並行して、読解力の視点を踏まえて授業改善を進めることにより、生徒の学習内容の理解がより深まり、学んだことを活用できる力が身に付くであろう。
- 授業内容や単元の振り返りを学習した用語を用いたり、例を取り入れたりして、具体的にまとめ表現をさせることで、主体的な学びや深い学びにつながるであろう。

4 研究内容

（1）朝活動の充実

- ・「よむ yomu ワークシート」や「読み方レスキュー」を用いた読解力向上のための取組
- ・「コグトレオンライン」を用いた認知能力向上のための取組
- ・「ミライ Skills」生徒会を中心としたコミュニケーション活動による発信する力の向上のための取組

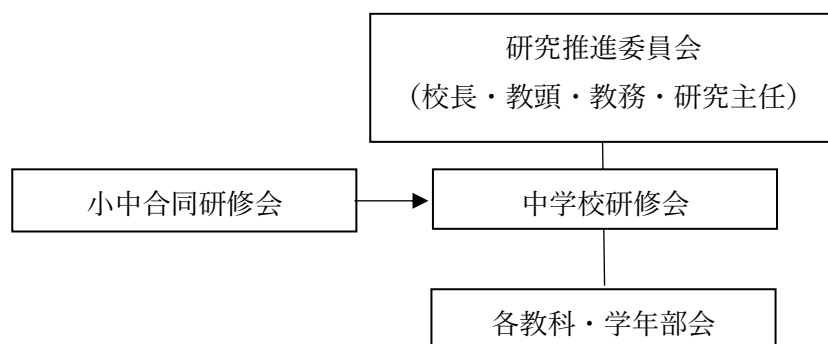
(2) 授業改善

- ・ 学び方スタンダードの提示と定着
- ・ 授業の最後に「何を学んだのか」振り返る時間を設定する。「めあて」と「まとめ・振り返り」の整合性を意識した授業づくり
- ・ 1人1回の研究授業実施と全員参観
- ・ 特別支援教育の視点に立った授業実践・授業改善
- ・ 学力調査結果の課題把握と分析
- ・ RSTの実施

5 研究組織

- (1) 研究推進委員会は、校長・教頭・教務主任・研究主任で構成し、必要に応じて実施する。
- (2) 必要に応じて小中合同研修会を行う。

組織図



6 年間予定

1学期	<ul style="list-style-type: none">・ 朝の諸活動についての検討→共通理解→実施・ 全体計画、年間活動の検討・ 特別支援教育についての研修・ 提案授業【社会】（6～7月） 全教員参観・放課後授業反省会・ 生徒への授業の振り返りアンケート
夏休み	<ul style="list-style-type: none">・ 1学期の取り組み反省・改善案の検討・ 全国学力調査・県学力調査の結果分析・ 小中合同研修の企画・実施
2～3学期	<ul style="list-style-type: none">・ 研究授業の実施（1人1回） 全教員参観・放課後授業反省会・ 小中合同での授業研究会(年1回以上実施)
冬休み	<ul style="list-style-type: none">・ 生徒への授業の振り返りアンケート・ 2学期の取り組み反省・改善案の検討
3学期	<ul style="list-style-type: none">・ 標準学力調査の結果分析・ 生徒への授業の振り返りアンケート・ 今年度の反省、次年度に向けて

